



7月16日(水)、イクストライド株式会社が高森中学校へ27台、高森東中学校へ8台のiPad(タブレット型パソコン)を寄贈しました。

同社の「生徒に様々なOS(パソコンのシステム全体を管理するソフトウェア)を使ってほしい」との思いから寄贈となりました。学校は、校外授業や家庭学習の充実のために活用し、学力を高める取り組みを進めます。



7月3日(木)、県議会教育警察常任委員会(7名)と関係者が、高森中央小学校と高森中学校の情報通信技術(ICT)を活用した授業を視察し、町教育委員会と意見交換を行いました。

町教育委員会では、ICTを教育ツール(タブレット型パソコンや電子黒板など)として活用し、子どもたちの教育環境の充実を図っています。



▲ 高森町のPR・トーク

7月18日(金)、県立大学の学食メニューに高森産の夏野菜をふんだんに使った「夏の元気もりもり高森ランチ」が登場しました。

これは、大学が取り組んでいる「食育の日」として行われたものです。大学と町は、本年2月に包括協定を結んでおり、高森産の農産物が活用されることになりました。



▲ 学生の活動報告のようす

メニューを考案した環境共生学部食健康科学科の吉村研究室のメンバーは、栽培状況の現地調査や生産者との意見交換のため、6月に本町を訪問しました。

「食育の日」、メンバーは食堂内で活動内容を報告し、町は農産物や観光のPRと町内農家からのビデオレターを上映しました。



▲ 夏の元気もりもり高森ランチ

今後、町では食育事業としてメニューを活かしていきます。

また、考案された「夏の元気もりもり高森ランチ」から一品のレシピを本誌の23ページに掲載しています。夏本番を迎え、体調管理が難しくなっています。地元産の夏野菜を食べて、地域と体を元気にして、この暑い夏を乗り切りましょう！

## 食育 学生食堂に高森ランチ。